週報 Weekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease
青森県感染症発生情報
（2023 年第 29 週）
発行　青森県感染症情報センター（2023 年 7 月 27 日）
（青森県環境保健センター：担当　微生物部）
TEL　017-736-5411、 FAX　017-736-5419
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyosenta/infection-survey.html

Ⅰ　第 29 週の発生動向（2023/7/17～2023/7/23）

1．**ヘルパンギーナ**については、**東地方+青森市保健所管内、三戸地方+八戸市保健所管内、五所川原保健所管内及び上十三保健所管内**で**警報**（基準値 6）が継続しています。

2．**ＲＳウイルス感染症**については、県全体の定点当たり報告数が過去 5 年間の同時期と比較してやや多い状況です。

Ⅱ　第 29 週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

は警報、　は注意報。「空欄」：患者報告無し。

		東青（東地方＋青森市保健所）		中南（弘前保健所）		三八（三戸地方＋八戸市保健所）		西北（五所川原保健所）		上北（上十三保健所）		下北（むつ保健所）		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数
小児科内科	インフルエンザ															0
	新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症※	51	4.25	54	4.15	93	7.15	49	7.00	49	5.44	54	9.00	350	5.83	107
小児科	ＲＳウイルス感染症	16	2.29	3	0.38	13	1.63	2	0.40			2	0.50	36	0.95	4
	咽頭結膜熱	4	0.57	1	0.13	3	0.38							8	0.21	2
	A群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	4	0.57	10	1.25	3	0.38							17	0.45	4
	感染性胃腸炎	17	2.43	12	1.50	34	4.25	18	3.60	2	0.33			83	2.18	-29
	水痘			1	0.13									1	0.03	-1
	手足口病	7	1.00	5	0.63	3	0.38	1	0.20	3	0.50			19	0.50	1
	伝染性紅斑															0
	突発性発しん	3	0.43	1	0.13	2	0.25			1	0.17			7	0.18	-4
	ヘルパンギーナ	93	13.29	32	4.00	56	7.00	81	16.20	80	13.33	13	3.25	355	9.34	-43
	流行性耳下腺炎							1	0.20					1	0.03	0
眼科	急性出血性結膜炎			1	0.33									1	0.10	1
	流行性角結膜炎															0
基幹	感染性胃腸炎（ﾛﾀｳｲﾙｽ）															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎															-4
	無菌性髄膜炎															0

※新型コロナウイルス感染症については、青森県庁ホームページ「新型コロナウイルス感染症について」をご覧ください。
（https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenko/hoken/covid19.html）
また、新型コロナウイルス感染症の発生状況に関しては、保健衛生課（TEL:017-734-9871）にお問い合わせください。

感染症の窓

海外渡航先での感染症予防

本格的な夏休みシーズンを控え、海外旅行を検討されている方もいるかと思いますが、海外では、日本には存在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症が報告されています。

その一例として、犬、猫、コウモリ、キツネ、アライグマ等との接触で感染する狂犬病や鳥との接触で感染する鳥インフルエンザ、蚊やダニが媒介するマラリアやデング熱等があります。また、食べ物や水が感染源となって感染症に罹患するケースもあり、日本国内では、感染源としてあまり注意が払われない動物やものから感染症に罹患することがありますので、注意が必要です。

夏休み中に海外旅行を検討されている方は、渡航先で流行している感染症について、厚生労働省検疫所のホームページ等で事前に確認し、必要に応じ、かかりつけ医に相談のうえ、出国前にワクチンを接種しましょう。また、前述のとおり、様々な動物やものが感染源となりますので、むやみに近づいたり、触ったりしないように注意しましょう。

〇詳しい情報はこちらをご覧ください。

☞夏休みに海外へ渡航される皆さまへ！（厚生労働省検疫所 HP）

表　海外で注意しなければいけない感染症
（厚生労働省検疫所 HP より一部加工して掲載）

主な感染源	注意すべき病気	主な発生地域	予防接種
食べ物水	E型肝炎	世界各地	
	A型肝炎	世界各地（特に水道設備が整っていない地域）	○
	赤痢		
	腸チフス		
	コレラ		
事故・ケガ	破傷風	世界各地	○
蚊	マラリア	熱帯・亜熱帯地域（アジア、アフリカ、中南米）	予防薬（飲み薬）
	デング熱	熱帯・亜熱帯地域（アジア、オセアニア、アフリカ、中南米、中東）	
	チクングニア熱	東南アジア、南アジア、アフリカ、中南米	
	ジカウイルス感染症	アフリカ、東南アジア、南アジア、カリブ海諸国、アメリカ大陸、太平洋島諸国	
	黄熱	アフリカ、中南米	○
	ウエストナイル熱	北アメリカ、ヨーロッパ南部、アフリカ、中東、アジア	
	日本脳炎	アジア	○
ノミ	ペスト	アフリカ、アジア、アメリカ大陸	
動物	狂犬病	世界各地（特にアジア、アフリカ）	○
	鳥インフルエンザ	アジア、アフリカ	
	中東呼吸器症候群（MERS）	中東	
人	麻しん	世界各地（特にアジア、アフリカ、欧州）	○
	風しん	世界各地（特にアジア、アフリカ）	○
	ポリオ	中東、アフリカ等	○
沼や河川	レプトスピラ症	世界各地	
	住血吸虫症	アジア、アフリカ、中南米など	

Ⅲ　全数把握対象疾患

・**結核**（二類感染症）：三戸地方１人、上十三１人　（2023 年計：　60 人）
・**腸管出血性大腸菌感染症**（三類感染症）：上十三１人　（2023 年計：　10 人）
・**梅毒**（五類感染症）：八戸市１人　（2023 年計：　19 人）

Ⅳ　病原体検出情報　※（ ）内は、検査材料及び検体採取日

急性気管支炎（無呼吸発作）患者（鼻汁、直腸ぬぐい液、7/7）・・・ヒトライノウイルスＡ：青森市１人

Ⅴ　保健所管内別全数把握対象疾患発生状況　（2023 年第 26 週～2023 年第 29 週）

週	東青（東地方保健所+青森市保健所）	中南（弘前保健所）	三八（三戸地方保健所+八戸市保健所）	西北（五所川原保健所）	上北（上十三保健所）	下北（むつ保健所）
26	つつが虫病1人		つつが虫病1人 梅毒1人	レジオネラ症1人	梅毒1人	
27	ウイルス性肝炎1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	レジオネラ症1人	梅毒1人			
28	侵襲性肺炎球菌感染症1人 梅毒1人 百日咳1人				レジオネラ症1人 梅毒1人	
29			梅毒1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	

Ⅵ　結核（二類感染症）　（2023 年第 26 週～2023 年第 29 週）　（人）

週	東青（東地方保健所+青森市保健所）	中南（弘前保健所）	三八（三戸地方保健所+八戸市保健所）	西北（五所川原保健所）	上北（上十三保健所）	下北（むつ保健所）
26	1	1			1	
27	1				2	
28	1		1			
29			1		1	

Ⅶ　全数把握対象疾患発生状況（全国−青森県）（注：発生状況は**速報値**であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国　（2023 年第 1 週〜第 28 週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	エムポックス
累積報告数	7263	1	21	1361	22	6	334	30	6	184

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	オウム病	回帰熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア
累積報告数	6	10	1	88	2	106	42	166	1	8

分類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	7	1105	9	259	146	948	33	267	4	79

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風
累積報告数	454	516	26	284	10	979	206	8040	97	51

分類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	75	478	9	22	9

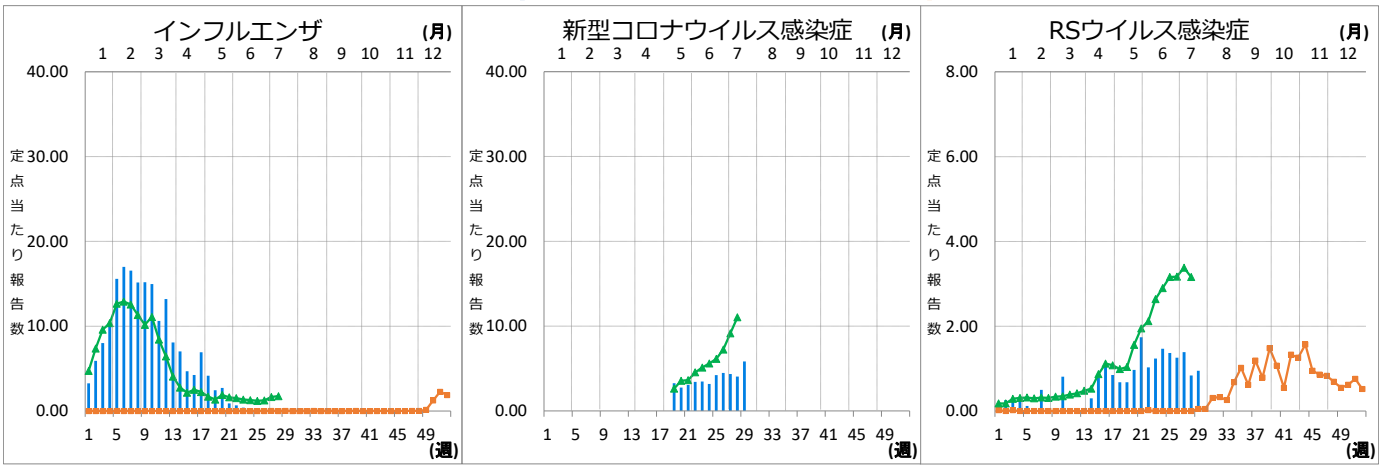
青森県　（2023 年第 1 週〜第 29 週までの累計）

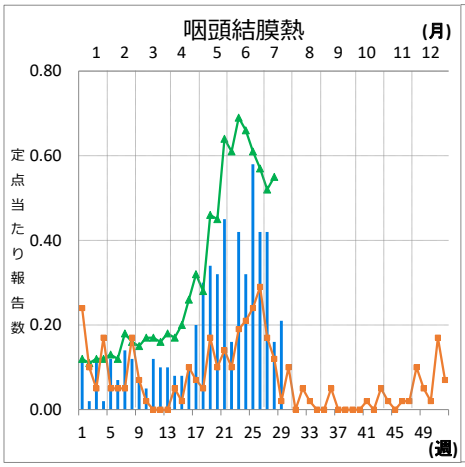
分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	60	10	2	8	7	1	2	15	2	7

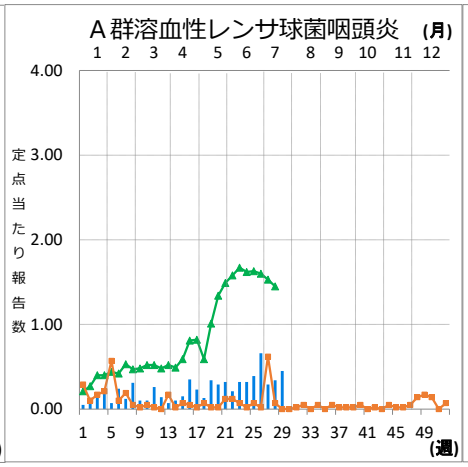
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	1	1	14	19	2	1	5

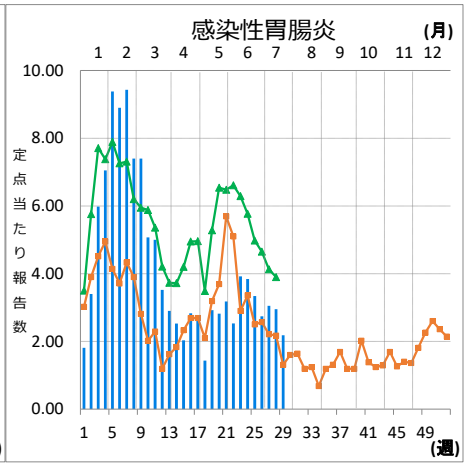
Ⅷ　インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2023 年第 29 週、ただし全国は前週）

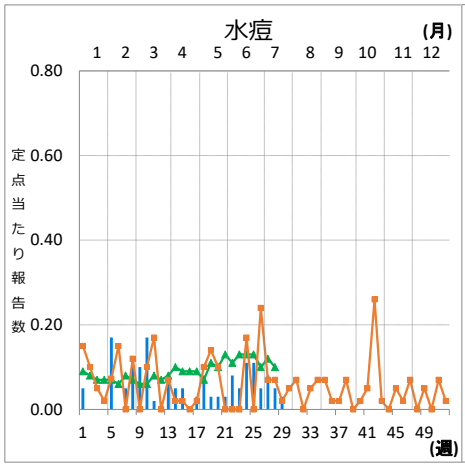
グラフの説明☞——は 2023 年青森県、■——■は 2022 年青森県、▲——▲は 2023 年全国

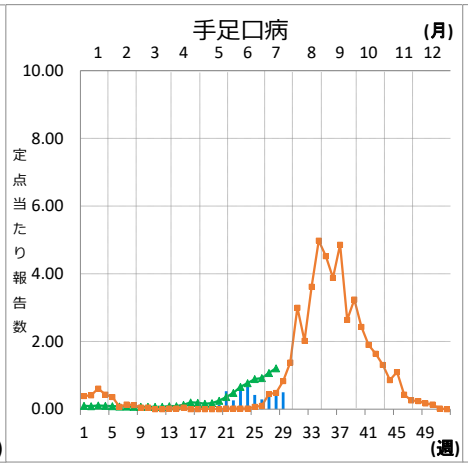


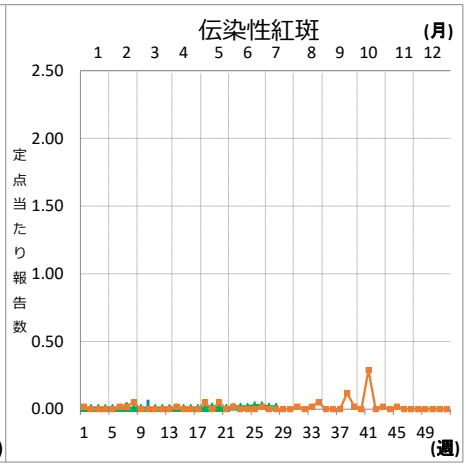


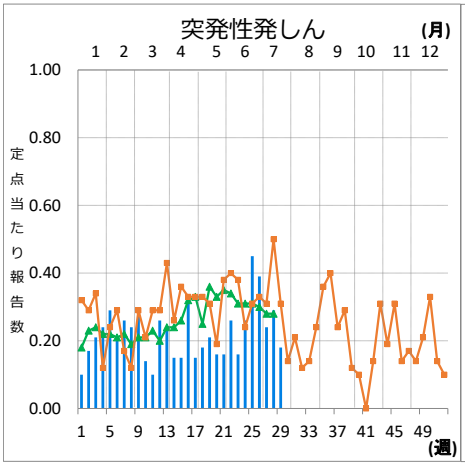


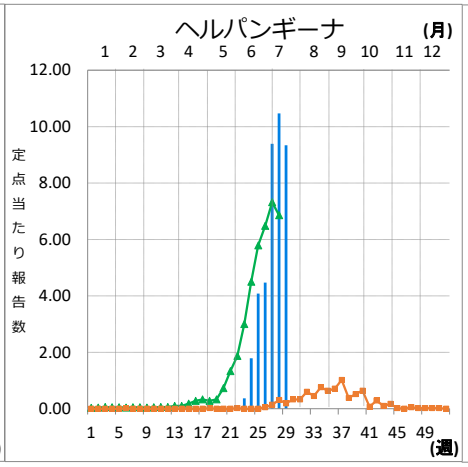


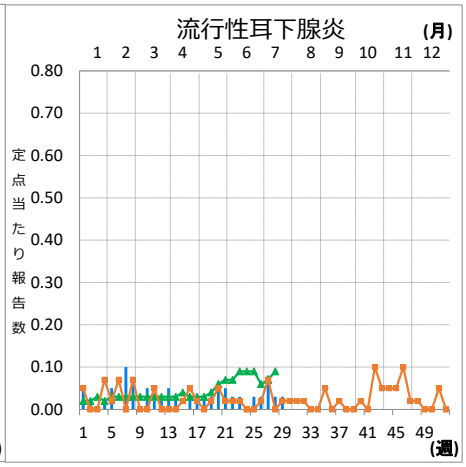






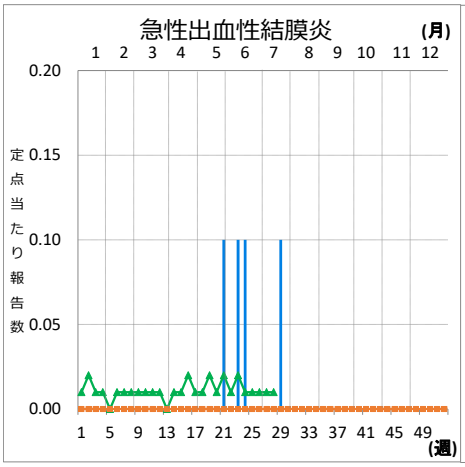


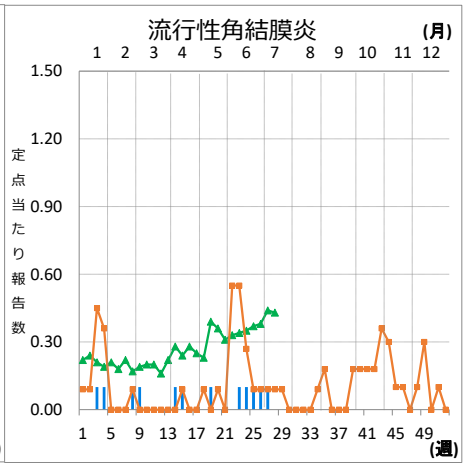




Ⅸ　眼科定点把握対象疾患週別推移（2023 年第 29 週、ただし全国は前週）

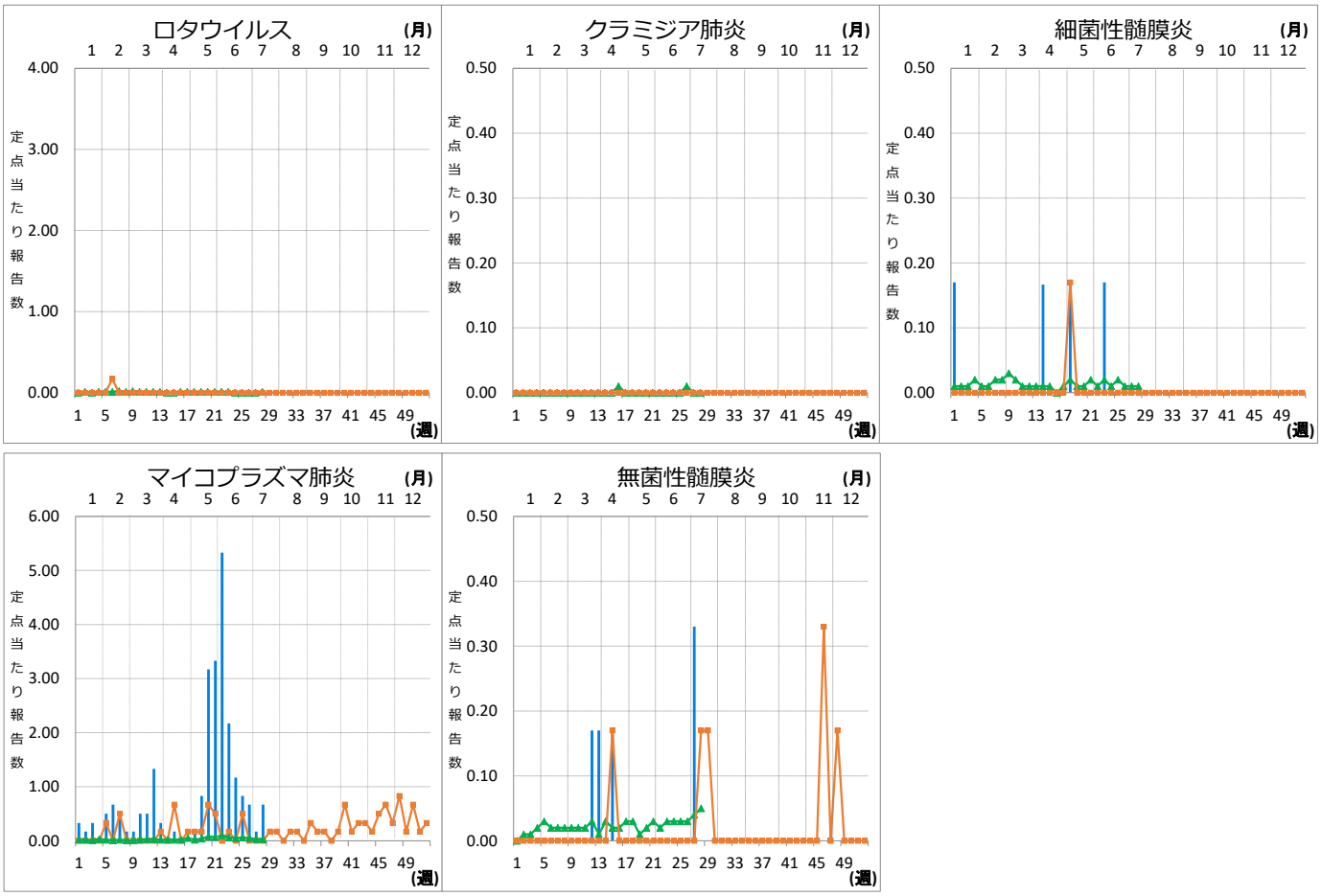
グラフの説明☞——は 2023 年青森県、■——■は 2022 年青森県、▲——▲は 2023 年全国





X　基幹定点把握対象疾患週別推移（2023 年第 29 週、ただし全国は前週）

グラフの説明☞――は 2023 年青森県、■――■は 2022 年青森県、▲――▲は 2023 年全国



XI　社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成１８年２月２２日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2023 年第 29 週

報告はありませんでした。

2023 年報告件数及び発症者数

施設種別	月（週）	1月				2月				3月					4月				5月				6月					7月				計（施設別）
		1週	2週	3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	28週	29週	30週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		8
	発症者数	9	16	0	0	0	10	0	0	37	0	10	43	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		143
児童・婦人関係施設等	件数	0	1	2	2	2	1	3	2	2	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		21
	発症者数	0	12	36	54	34	12	58	44	41	18	10	0	0	0	14	41	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		384
障害関係施設	件数	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		4
	発症者数	0	0	0	26	0	0	0	26	0	0	0	49	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		117
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
計（月別）	件数	1	2	2	3	2	2	3	3	3	2	2	3	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		33
	発症者数	9	28	36	80	34	22	58	70	78	18	20	92	0	0	30	41	10	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		644